

令和8年度
福岡未来創造プラットフォーム
事業計画書



福岡未来創造
プラットフォーム

目 次

地域人材育成分科会		ページ
取組 1	「福岡未来創造プログラム」の充実と展開	3
取組 2	学生が大学とまちの未来創造にチャレンジできる体制および 支援制度の構築と展開	4
取組 3	地元産業界等と連携したキャリア教育・就職支援の充実	5
取組 4	アントレプレナーシップ教育の充実と展開	6

産学官民交流分科会		ページ
取組 1	「『福岡まなびラボ』を核とした対話と創造の場づくりの推進」事業	7
取組 2	「共同研修事業の推進」事業	8
取組 3	生涯学習・リカレント教育事業の共同実施	9
取組 4	「資源の共有化や業務・事業の共同化の推進」事業	10
取組 5	組織の垣根を越えた交流を促進する支援制度の再編と拡充	11-12

広報・ブランディング分科会		ページ
取組 1	高校生に向けた広報活動の充実と展開	13
取組 2	学生による広報・ブランディング活動の展開	14
取組 3	プラットフォームの認知度向上の推進	15

共同事務局		ページ
取組 1	「プラットフォームの持続可能性向上」事業	16
取組 2	「財務基盤改善」事業	17
取組 3	「組織のガバナンス強化」事業	18

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	「福岡未来創造プログラム」の 充実と展開	所管分科会	地域人材育成分科会
目的 (100 字程度)	PF 加盟大学の学生を対象に、「地域の未来を担う人材の育成」を目的とした PF オリジナルの共同教育プログラムを実施する。幅広い学問領域や社会課題をテーマに PF ならではの学びを提供することにより、学生の成長の最大化を目指す。		
事業概要 (100～200 字程度)	(1) 「福岡未来創造プログラム・カリキュラム基本方針」に基づき、「越境」・「共創」・「変容」を構成する 9 つの能力・要素の育成するため、参画機関の協働による多様な科目・講座を企画・展開する。 (2) 本プログラムでは、時代の潮流やニーズに沿って、社会をフィールドとした PBL、アントレプレナー、スタートアップ、DX、AI・データサイエンス、金融、SDGs、ESG 等の多様なテーマを扱い、その一部を高校生にも提供する。 (3) 開講科目・講座について、受講者アンケートを実施し、満足度ならびに課題・問題点を把握しながら、運営方法の改善と質の向上を図る。		
目標値	(1) プログラム開講数：11 開講以上 (2) 受講者数：延べ 330 名以上 (3) 受講者の満足度：平均 75%以上		
スケジュール	● 4 月 企画（テーマ設定・講師派遣調整） ● 5 月 決議（5 月開講分はメール等で早期決議） ● 6 月以降 広報及び受講学生募集（開講可能なものから随時） 随時開講 ● 2 月 実績の総括 ● 3 月 次年度計画の策定		
予算額	2,500,000 円		
予算使途・科目	会議費 印刷費 消耗品費 施設利用費 謝礼（講師及びアシスタント等） その他雑費		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	学生が大学とまちの未来創造に チャレンジできる体制および 支援制度の構築と展開	所管分科会	地域人材育成分科会 (産学官民交流分科会と連携)
目的 (100 字程度)	PF 加盟大学の学生を対象に、「大学生の学びと成長の環境づくり」、「大学のまち福岡」、「地域経済の活性化」、「地域共創・共生」などに供する活動の支援を目的として、学生たちが大学とまちの未来創造にチャレンジできる体制の構築と支援制度の創出に取り組む。		
事業概要 (100～200 字程度)	(1) 「福岡未来創造プログラム・カリキュラム基本方針」に掲げる「越境」・「共創」・「変容」を構成する 9 つの能力・要素の育成を念頭に、「大学生の学びと成長の環境づくり」、「大学のまち福岡」、「地域経済の活性化」、「地域共創・共生」などに供する学生活動を支援するための仕組みを構築する。 (2) 重点事業としてビジネスチャレンジ NEXT (ビジネスプランコンテスト) を実施する。		
目標値	(1) 支援を受けた学生数：延べ 50 名以上 (2) 支援学生の満足度：平均 75%以上		
スケジュール	● 4 月～ 5 月 計画の策定 ● 6 月 決議 ● 7 月以降 随時実施 ● 2 月 実績の総括 ● 3 月 次年度計画の策定		
予算額	2, 000, 000 円		
予算使途・科目	事業委託費 会議費 印刷費 消耗品費 施設利用費 謝礼 (講師及びアシスタント等) その他雑費		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	地元産業界等と連携した キャリア教育・就職支援の充実	所管分科会	地域人材育成分科会 (産学官民交流分科会と連携)
目的 (100 字程度)	PF 加盟大学の学生を対象に、地元産業界等と連携したキャリア支援事業を企画・展開し、学生のより良い就職活動や、初等中等教育向けのキャリア形成に寄与する。		
事業概要 (100～200 字程度)	PF の特徴とネットワークを活かした、キャリア・就活アドバイス、業界研究、合同企業セミナー、会社説明会、インターンシップ、初等中等教育向けキャリア形成等のイベントを実施する。		
目標値	(1) イベント実施数：延べ 10 回以上 (2) 参加者数：延べ 1,000 名以上 (3) 参加者の満足度：平均 75%以上		
スケジュール	● 4 月～5 月 企画 ● 6 月 決議 ● 7 月以降 随時実施 ● 2 月 実績の総括 ● 3 月 次年度計画の策定		
予算額	3,400,000 円		
予算使途・科目	事業委託費 会議費 印刷費 消耗品費 施設利用費 謝礼 その他雑費		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	アントレプレナーシップ教育の 充実と展開	所管分科会	地域人材育成分科会
目的 (100 字程度)	福岡都市圏のすべての学生がアントレプレナーシップ教育を自由に受けられる環境をつくることを目指して、大学横断型のアントレプレナーシップ教育共通プラットフォームとして実績ある「Fukuoka School of Entrepreneurship」と連携し、各加盟大学にアントレプレナーシップ教育を展開する。		
事業概要 (100～200 字程度)	(1) アントレプレナーシップマインドを持った人材の輩出及び福岡都市圏への多様な人材の集積を目指し、アントレプレナーシップ教育の質的向上と充実、受講機会の拡大等に取り組む。 (2) 「Fukuoka School of Entrepreneurship」の優れたフレームワークと連携し、関連講座を開講する。		
目標値	(1) 講座開講数：10 回以上 (2) 受講者数：延べ 500 名以上 (3) 受講者の満足度：平均 75%以上		
スケジュール	● 4 月以降 随時開講（受講者アンケートを含む） ● 1 ～ 2 月 実績の総括及び次年度計画の策定 ● 3 月 次年度募集開始		
予算額	200,000 円		
予算使途・科目	会議費 印刷費 消耗品費 施設利用費 謝礼（講師及びアシスタント等） その他雑費		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	(1)『福岡まなびラボ』を核とした対話と創造の場づくりの推進」事業	所管分科会	産学官民交流分科会
目的 (100 字程度)	「福岡まなびラボ」が中心となり、「福岡の未来の学びの創造」をテーマに産学官民の関係者による対話と交流の場を継続的に開催することで、組織の垣根を越えた関係性づくりを進めるとともに、プラットフォームのビジョンの実現に資するさまざまな先進的な事業や教育プログラム等の創出につなげる。		
事業概要 (100～200 字程度)	産学官民の対話と交流の場として、「福岡まなびラボ（以下、まなラボ）」を定期開催する（月 1 回程度）。「福岡の未来の学びの創造」をテーマに、産学官民で対話や交流、学習会等を進めるとともに、そこで生まれたアイデアや構想を代表者会議や分科会と共有したり、まなラボメンバー等で実際に試行したりすることで、プラットフォームのビジョンの実現に資する新たな事業や教育プログラム等の創出につなげていく。 また、まなラボは、第 2 期から設置される「PF 戦略推進会議」の運営を支える役割も担い、同会議における提案内容の実現に向けた支援等にも取り組む。		
目標値	・対話と交流の場への参加者数：延べ 200 人以上 ・対話と交流に基づく新規の企画・事業等の実現件数：3 件以上		
スケジュール	【福岡まなびラボ】 ● 5 月～3 月 福岡まなびラボの開催（月 1 回程度） ● 4 月～9 月 福岡未来創造プログラム コア科目（冒険する力 標準レベル）の開発・開講準備 ● 10 月～12 月 コア科目の開講・運営 ● 10 月、3 月 福岡まなびラボ企画の対話と交流イベントの開催 ※令和 7 年度に福岡まなびラボで開発・開講した福岡未来創造プログラム コア科目「自分の可能性を切り開く冒険する力入門」についても、改良を加えたうえで継続開講予定。 【産学官民交流分科会】 ● 4～3 月 産学官民交流分科会の構成メンバーを中心に、各加盟機関が求める大学間または産学官民交流のあり方を検討し、試行的に実施する 【PF 戦略推進会議】 ● 4～10 月 第 1 回戦略推進会議の企画・準備 ● 6 月 第 1 回戦略推進会議に向けた学生主体の対話イベントの開催 ● 11 月 第 1 回戦略推進会議の開催 ⇒同会議の内容・成果をプラットフォーム全体で共有するとともに、ウェブサイトで公開する		
予算額	1,300,000 円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある		
予算使途・科目	・消耗品費 ・印刷費 ・会議費 ・旅費 ・謝金 ・雑費		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	(2)「共同研修事業の推進」事業	所管分科会	産学官民交流分科会
目的 (100 字程度)	プラットフォーム加盟機関の人材の資質向上及び交流の促進を目的に、プラットフォーム加盟機関の共同による研修事業を推進する。		
事業概要 (100～200 字程度)	プラットフォーム加盟機関の発展につながる魅力的かつ質の高い研修プログラムを共同で開発・実施する。特に、第 2 期では「未来創造」をテーマに、新たな時代の教育や大学経営のあり方に関する最先端の実践事例の紹介や学び合いの場づくりに取り組むことで、各加盟機関の未来に向けた組織の変革と人材の成長を支援する。また、第 2 期の柱となる定例事業のひとつとして、加盟機関の関係者が毎年集まり、組織の垣根を越えた交流と学び合いを通して互いに高め合うことができる場の開発・実施に取り組む。 加えて、プラットフォーム内の各機関で実施されている既存の研修プログラムを他機関の教職員に開放し、受講できる仕組づくりも引き続き進める。		
目標値	・研修の共同実施件数：4 件以上（PF 主催 2 件、既存開放 2 件） ・研修への参加者数：延べ 100 人以上（PF 主催 80 人、既存開放 20 人） ・研修参加者の満足度：80%以上（PF 主催のみ）		
スケジュール	<教育×AI をテーマにした共同研修：福岡教育 AI 活用推進コミュニティ> ● 5～3 月 教育×AI をテーマにした共同研修の実施（全 5 回予定） ● 3 月 2 年間の成果の振り返りと検証 <PF の柱となる共同研修> ● 4 月 共同研修を企画・開発するプロジェクトチームの発足 ● 4～ 8 月 企画・開発 ● 9～10 月 広報・準備 ● 11 月 実施 ● 12 月 成果の振り返りと検証 ※その他例年通り、加盟機関からの提案等に基づき、既存の研修プログラムの開放や PF 主催研修を予算の範囲内で適宜実施し、学びと交流の機会の最大化に努める。		
予算額	800, 000 円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある		
予算使途・科目	・消耗品費 ・印刷費 ・会議費 ・旅費 ・謝金 ・雑費		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	(3)生涯学習・リカレント教育事業の共同実施	所管分科会	産学官民交流分科会
目的 (100 字程度)	子どもから社会人、高齢者に至るまで、地域の多様な人びとの主体的な学びと成長、社会での活躍を促す学習環境の充実を目指し、産学官民の連携協力のもと生涯学習・リカレント教育事業の共同実施に取り組む。		
事業概要 (100～200 字程度)	各加盟機関で実施されている生涯学習・リカレント教育事業の効果化・効率化を支援する仕組の構築（広報活動の共同化や相互協力、複数の加盟機関で企画・開講する生涯学習講座への助成制度、ニーズ調査の共同展開等）をさらに具体化する。また、福岡のまちの未来創造や課題解決に大きく寄与することが期待できる先進的な生涯学習・リカレント教育のモデル事業の開発・実施に取り組む。		
目標値	・生涯学習・リカレント教育に係る事業・業務の共同実施件数：2 件以上		
スケジュール	<生涯学習・リカレント教育事業の効果化・効率化を支援する仕組の構築> ●4 月 プロジェクトチームの発足 ●4～9 月 仕組の検討 ●10 月～ 仕組の実装（1 件以上） <福岡のまちの未来創造に寄与するモデル事業の開発・実施> ※「科学教育」をテーマにした高大連携生涯学習事業 ●4 月 プロジェクトチームの発足 ●4～8 月 中長期の事業構想の検討、科学教育イベントの準備および加盟大学や高校等への参画呼びかけ ●8 月 科学教育イベントの開催 ●11 月 高大連携に向けた大学教員と高校教員の意見交換会の開催 ●2 月～ 高大連携イベントの試行 ●3 月 成果の振り返りと検証		
予算額	1, 000, 000 円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある		
予算使途・科目	・消耗品費 ・印刷費 ・会議費 ・旅費 ・謝金 ・雑費		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	(4)「資源の共有化や業務・事業の 共同化の推進」事業	所管分科会	産学官民交流分科会
目的 (100 字程度)	プラットフォーム加盟機関の経営力の強化（業務の効率化、コストの削減、教育研究力の向上等）を目的に、知的・人的・物的資源の共有化や業務の共同化の可能性について継続的に調査するとともに、その実現に向けた支援に取り組む。 【取組例】備品・サービス等の共同調達、施設・設備の共同利用、業務システムの共同開発、クロスアポイントメント制度の実施、特定の業務・事業の共同実施等		
事業概要 (100～200 字程度)	プラットフォーム加盟機関における資源の共有化や業務・事業の共同化の推進に向けて、下記の取組を継続的に実施する。 ①【取組事例の見える化】 毎年、全国の大学等における共有化・共同化の最新の取組事例を調査し、各加盟機関の代表者や関係者に向けて情報提供を行う ②【加盟機関への調査】 ①を踏まえて、各加盟機関側で実現したい共有化・共同化のメニューがないか定期的に意向調査や呼びかけを行う ③【加盟機関同士のマッチング】 ②で提案があがった具体的なメニューに関して、他の加盟機関への実現に向けた呼びかけやマッチングに取り組む 特に、当年度は、産学官交流や共同研究の活性化を見据えた「研究」領域における共有化・共同化（研究シーズ集の共同作成、研究設備・機器の共同利用、産学官交流会の共同実施等）の可能性について、重点的に調査・検討に取り組む。		
目標値	・資源の共有化や業務・事業の共同化の実現件数：1 件以上 ・PF 加盟機関への事例等調査結果の共有及び意向調査の実施回数：1 回以上		
スケジュール	<施設・設備の共同利用> ● 6～ 8 月 「施設・設備の共同利用に関する調査」等の実施 ● 9～10 月 調査結果の取りまとめ、および情報公開 <産学官交流や共同研究の活性化を見据えた「研究」領域の共有化・共同化> ● 5 月 プロジェクトチームの発足 ● 5～8 月 前年度の調査結果をもとに共有化・共同化の可能性の検討（必要に応じて追加調査を実施） ● 9 月 検討結果の取りまとめ⇒PF 代表者会議で報告 ● 10 月～ PF 加盟機関を対象とした意向調査または呼びかけの実施 ⇒加盟機関から実施希望の提案があがった取組に関しては、適宜、実現に向けた支援を進める。		
予算額	100,000 円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある		
予算使途・科目	・消耗品費 ・会議費 ・雑費		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	(5) 組織の垣根を越えた交流を促進する支援制度の再編と拡充	所管分科会	産学官民交流分科会
目的 (100 字程度)	プラットフォームのビジョンの実現に寄与する、組織の垣根を越えたチャレンジングな事業を支援する制度を整備し、運用する。		
事業概要 (100～200 字程度)	第 1 期における「福岡よか未来プロジェクト支援制度」を再編・拡充し、次のような方針に基づく新たな支援制度を整備・運用する。 ① プラットフォームが目指すビジョンの実現に大きく寄与することが期待できる事業を公募し、支援する。 ② 支援対象の事業は、プラットフォーム加盟機関に所属する学生・教員・職員のいずれかが代表者または構成員となり、かつ加盟機関の組織の垣根を越えたプロジェクトメンバーによる取組であること。 ③ より社会的インパクトが強い事業を募集できるように、1 件あたりの支援金額を増額する（1 件 15 万円⇒30 万円検討）。また、学生と教職員の申請区分を分ける。 ④ 旧制度の「認定型プロジェクト」も見直す。「大学のまち福岡」のブランド力の向上や学生の学びと成長の環境づくりなど、ビジョンの実現に大きく寄与することが期待できる加盟機関内外の既存のプロジェクトを公認し、連携協力することにより、外部の力を活用してプラットフォームの活性化と省力化を実現する新たな制度へと再編する。 ⑤ 本支援制度は、「地域人材育成分科会」や「広報・ブランディング分科会」と連携協力して実施・運用する。 加えて、第 1 期では、すでに福岡の大学やまちで活発に活動している個人や団体が申請し、助成を受ける傾向が強いという課題があったが、第 2 期では同支援制度にチャレンジできる人材を育成する（裾野を広げる）ことを目的に、学生が事業の企画・構想、チームづくり、実践までを学ぶことができる連続講座（推しから始まるプロジェクト）を開講する。		
目標値	・ 支援件数：6 件以上 ・ 支援制度に基づく交流者数：延べ 300 人以上		
スケジュール	< 新たな支援制度 > ● 4 月 新制度の募集要項・審査要項の完成（前年度から準備に着手） ● 5 月 募集開始 ● 6 月 書類審査および面接審査（オンライン予定） ● 7 月～採否結果の通知・支援開始 （⇒3 月 支援終了。事業終了後 1 カ月以内に選定団体から成果報告） ● 3 月 新制度の検証を行い、次年度に向けて要項・制度等を改善 < 推しから始まるプロジェクト > ● 4～6 月 企画		

	● 7～8 月 広報・準備 ● 9～3 月 講座実施（全 5 回） ※9～10 月 座学 11～2 月 実践期間 3 月 最終発表会
予算額	2, 500, 000 円 ※本分科会全体の予算額を上限に他の事業へ予算流用する場合がある
予算使途・科目	・消耗品費 ・通信運搬費 ・印刷費 ・謝金 ・雑費 ・報償費（助成金）

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	高校生に向けた広報活動の充実と 展開	所管分科会	広報・ブランディング分科会
目的 (100 字程度)	全国の高校生に向けて福岡の大学とまちの魅力を効果的に発信することで、各参画機関の認知度向上を支援するとともに、「大学のまち福岡」で学ぶこと・暮らすことのブランド力を高める。		
事業概要 (100～200 字程度)	2025 年度からの継続事業 ・「大学のまち福岡」のさらなるブランド力の向上にむけて、Web サイトにおいて高校生から共感と賛同が得られる新たなコンテンツの開発・発信に取り組む。併せて、「大学のまち福岡」の創出に供するため、高校生向け広報媒体ツールの作成および合同アンケートを実施するとともに SNS との連携強化を図るものとする。		
目標値	・新規コンテンツの開発（投稿）数：10 以上 ・WEB サイトアクセス数：150,000/年 ・アンケート回収数：300 件		
スケジュール	【新規コンテンツの開発】 ●4 月～6 月 現状の分析と課題等の洗い出し ●7 月～10 月 新規コンテンツ要件策定・決定、構築 ●10 月 新規コンテンツリリース ●2 月～3 月 振り返り、次年度計画検討 【高校生向け広報ツール】 ●4 月 リーフレットの作成 ●5 月～3 月 リーフレットの配布及びアンケートの実施 ●2 月～3 月 振り返り・次年度計画検討		
予算額	2,625,000 円		
予算使途・科目	委託費 ・Web サイト保守・管理 340,000 円 ・Web サイト改修費用 1,925,000 円 ・リーフレット作成 700,000 円		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	学生による広報・ブランディング 活動の展開	所管分科会	広報・ブランディング分科会
目的 (100 字程度)	福岡都市圏の学生たちが大学の垣根を越えて、自らの力で福岡の大学とまちの魅力を全国に向けて発信・創出する活動を支援し、育てていく。これらの取組を通して、多くの学生たちが福岡の大学とまちを盛り上げる活動に主体的に参画し、活躍する環境の実現を目指す。		
事業概要 (100～200 字程度)	2025 年度からの継続事業 ・ 2025 年度に実施した学生祭典「すいと～よ福岡学生祭」の実施にかかる課題を踏まえて 2026 年度は、学生が主体となり、かつ、継続実施可能な「大型交流イベント」を再策定する。 ・ 前述の取組の中で 2025 年度の事業計画であった「学生広報プロジェクト」の設置についても併せて検討する。		
目標値	・ 実施イベントの決定		
スケジュール	●4 月～6 月 現状の分析と課題等の洗い出し ●7 月～2 月 実施案の策定 ●3 月 実施案決定		
予算額	300,000 円		
予算使途・科目	調査・研究費（好事例の視察旅費等）		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	プラットフォームの認知度向上の 推進	所管分科会	広報・ブランディング分科会 (共同事務局と連携)
目的 (100 字程度)	プラットフォームの認知度向上を最重要の課題のひとつとして位置づけた上で、「全国」「福岡都市圏」「加盟機関（教員・職員・学生）」の 3 つの領域を見据えた認知度向上の戦略を検討・構築する。		
事業概要 (100～200 字程度)	2025 年度からの継続事業 ・現時点で最も優先度が高い「加盟機関（教員・職員・学生）」におけるプラットフォームの認知度、および活動の意義や内容の理解度・共感度を向上させる戦略を重点的に検討・構築する。 ・戦略の検討・構築にあたっては、プロジェクトチームを設置する。 ・本分科会の「学生による広報・ブランディング活動の展開」事業における学生の活動及び共同事務局の「プラットフォームの持続可能性向上」とも部分的に連携し展開する。 ・福岡未来創造プラットフォーム紹介パンフレットを作成する。		
目標値	・加盟機関における認知度等向上の戦略プランの策定 ・福岡未来創造プラットフォーム紹介パンフレットを作成		
スケジュール	【戦略プラン策定】 ●4 月～5 月 現状の分析と課題等の洗い出し ●6 月～2 月 戦略プランの策定 ●3 月 戦略プラン確定 【パンフレットの作成】 ●4 月～3 月 校正・印刷（2027 年 3 月発行）		
予算額	400,000 円		
予算使途・科目	印刷費（パンフレット作成）		

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	「プラットフォームの持続可能性 向上」事業	所管分科会	共同事務局
目的 (100 字程度)	プラットフォームに参画する各機関の参画意義を高める。このことにより、エンゲージメントを向上させ、組織の持続可能性を高める。		
事業概要 (100～200 字程度)	2025 年度からの継続、発展事業。 2025 年度に行った参画機関を対象としたアンケート調査を基に、プラットフォームへの参画意義を高めるための施策を実施。特にアンケートで課題として浮かんだ満足度や認知度の不足を解決することにより、参画者のエンゲージメント向上を図る。		
目標値	総合満足度（やや満足以上）38.5%⇒60% 認知度（やや知られている以上）76.9%⇒85%		
スケジュール	4 月～5 月 アンケート結果、第 17 回代表者会議の意見を踏まえた検討 6 月～7 月 共同事務局会議での対応策承認 8 月～ 実施 2 月 参画機関アンケート実施		
予算額	0 円		
予算使途・科目			

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	「財務基盤改善」事業	所管分科会	共同事務局
目的 (100 字程度)	会費収入の減少が著しい状況を鑑み、財務面からプラットフォームの持続可能性を高める。		
事業概要 (100～200 字程度)	2025 年度からの継続事業。 現状とこれから起こりうる更なる収入減少に踏まえ、今後の予算編成の基本的な方針を作成する。特に今後の突発的な支出の備え、財務基盤の支えとなる維持すべき繰越収支差額の目標値の設定等、財務基盤の改善、強化策を検討する。		
目標値	今後の予算編成の基本方針作成（定性目標）		
スケジュール	4 月～5 月 代表校にて基本方針の案を作成 6 月～8 月 共同事務局会議にて基本方針案の検討 9 月 代表者会議にて基本方針承認 2027 年 3 月 基本方針に沿った予算編成		
予算額	0 円		
予算使途・科目			

令和 8 年度 福岡未来創造プラットフォーム事業計画書

事業名	「組織のガバナンス強化」事業	所管分科会	共同事務局
目的 (100 字程度)	代表者会議の本質的機能をより明確にし、一般的な機能を共同事務局会議に権限委譲することで、代表者会議の機能強化を図る。		
事業概要 (100～200 字程度)	現在、代表者会議に付議している議題を整理し、議論の余地がない一般的事項に関する議題を抽出し、この事項に関する権限を共同事務局会議に委譲する。		
目標値	代表者会議の審議事項の 2025 年度比 20%削減		
スケジュール	4 月～6 月 代表校にて議題の整理 7 月～8 月 共同事務局会議にて規約改正案の確認 9 月 代表者会議にて規約改正 ※さらに改正が必要な場合は、3 月の代表者会議で追加改正する。		
予算額	0 円		
予算使途・科目			